

# 安全・安心科学技術に関する研究開発の推進方策について (概要)

(資料1-1)

## 第3期科学技術基本計画を踏まえた基本的な考え方

- 「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」の実現
- 経済的価値のみならず安全・安心な社会の構築への貢献など社会的価値の創出を目指し、研究開発の成果を通じたイノベーションを実現

## 位置付け

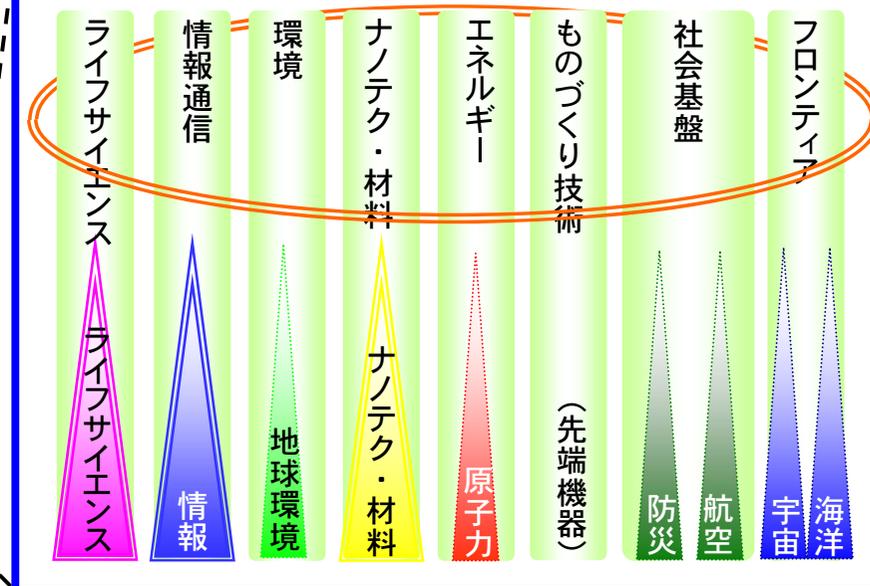
第3期科学技術基本計画  
(閣議決定)

分野別推進戦略  
(総合科学技術会議決定)

安全に資する科学技術推進戦略  
(総合科学技術会議決定)

安全・安心科学技術に関する  
研究開発の推進方策について  
(文部科学省)

## 安全・安心

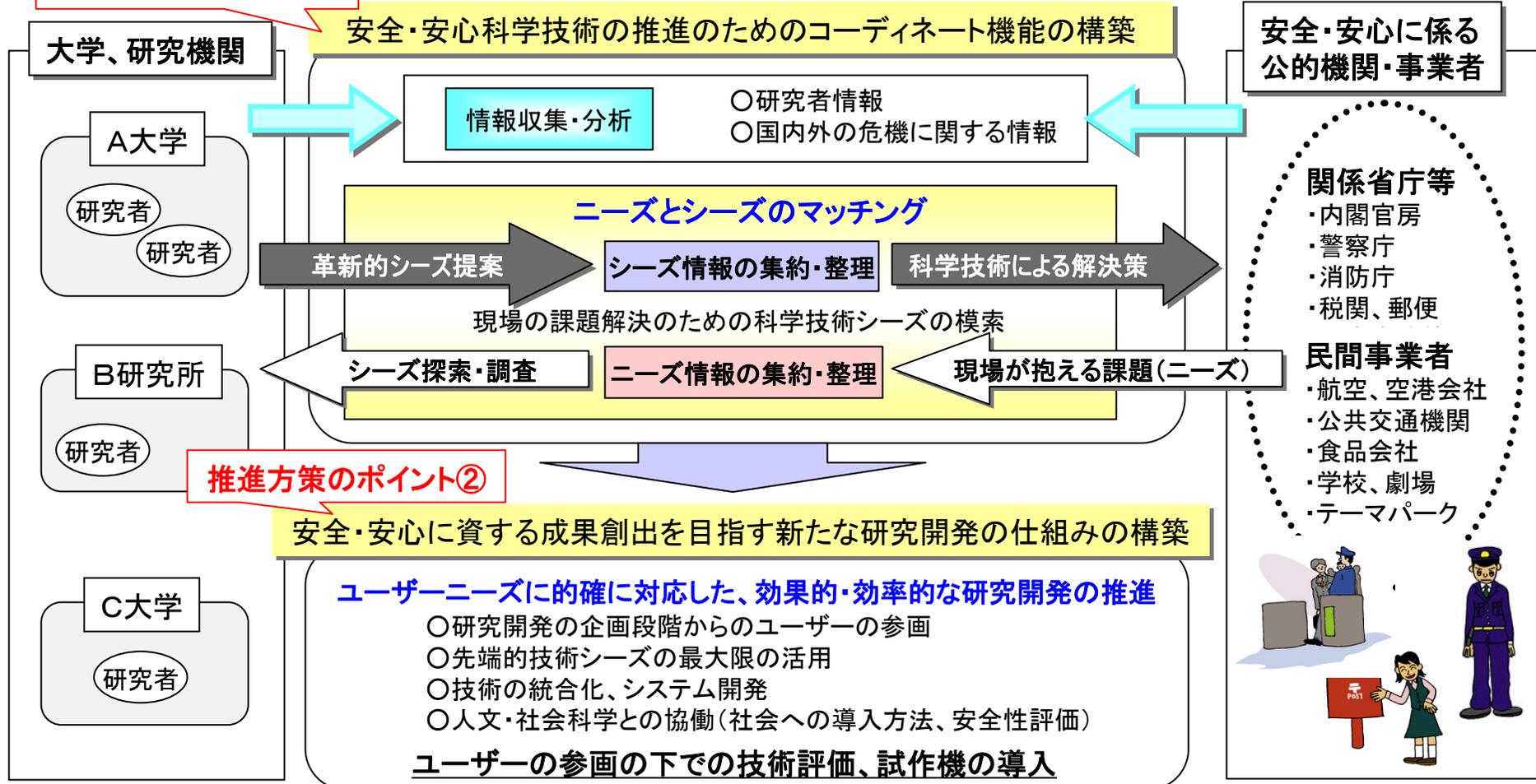


# 新たな研究開発システムの構築

## 課題

- ・危機事態への対応機関(ニーズ側)  
抱える技術的課題の解決に対して、有効な科学技術シーズに関する情報を入手することが困難  
⇒ **先端的な科学技術の活用が十分ではない**
- ・研究開発の現場(シーズ側)  
科学技術シーズを安全・安心な社会の実現のために用いる具体的な方法についての見通しが乏しい  
⇒ **ニーズに的確に対応した効果的・効率的な研究開発の推進が十分ではない**

## 推進方策のポイント①



## 個別研究開発の推進



※総合科学技術会議「安全に資する科学技術推進戦略」が対象とする7つの事態

### 推進方策のポイント③

#### ○危機事態別の研究開発課題

**7つの事態に対応する科学技術及び共通基盤的科学技術**について、各委員会で取りまとめられた分野別の推進方策を踏まえつつ、安全・安心の観点から、研究開発課題を提示

### 推進方策のポイント④

#### ○人文・社会科学面からの取り組み

(従来)危機事態別に、自然科学的観点からの課題解決方法



社会システムの高度化、複雑化により、十分な技術の活用が困難

- 危機事態が社会システム全体へ及ぼす影響を、俯瞰的に把握・分析
- 自然科学及び人文・社会科学の協働**による、的確かつ効果的な対処方法の検討  
(例)法制度、相互依存性解析、プライバシー・人権との関係 等

# 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進のための総合的な取り組み

## 推進方策のポイント⑤

### ○人材育成

危機事態への対処者など専門性を持つ人材  
⇒ **分野横断的な知識・技術の習得**

市民  
⇒ **広範な基盤的素養の醸成** 等

### ○学界への期待

学術的知見に裏付けられた政策提言  
(例. 英国王立協会及び王立工学アカデミー 等)

安全・安心な社会の実現に資する研究開発と  
人材の育成

## 安全・安心に資する研究開発の推進

### ○国際協力

アジア諸国  
⇒大規模自然災害、感染症等における  
協力の積極的な推進

先進諸国  
⇒テロや国際犯罪対策などの国際社会の  
安全にかかわる共通課題の解決に向けた  
協力の強化  
(例. 日米安全・安心な社会の構築に資する  
科学技術に関するイニシアティブ 等)

### ○民間企業のポテンシャルの活用

高い科学技術力を有する民間企業との積極  
的な連携の推進